

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?!から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

1. 最近の研究不正のスキャンダルをよく耳にしますが、自分もそうならないようにと、身の引きしめる思いでお話をうかがいました。
2. 科研費関係では職員の方々にご尽力をいただき、助けられていることを再認識しました。
3. 自主的に課題を発見し、その解決に取り組むことの実践例を見せていただき、刺激をいただきました。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
職場に元気がないこと	リラックスしながら職場でコミュニケーションができる機会を増やす。例えば、スポーツや趣味などの皆が参加できるイベントを企画する。日常にメリハリが生まれ、結果的に仕事効率も改善される？
縦割り・縄張り意識が強いと感じる。 人にヘルプを出しにくい	コミュニケーションをしやすい雰囲気を作り、仕事の割りふりがもっと柔軟に可能となれば、今よりも働きやすくなるはず。これについても上記の解決策が有効？

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

普段なかなか他の教職員の方々とお話をする機会がないので、とても新鮮で楽しい体験でした。日常の業務をこなしつつ、常に現状を改善しようと努力している方々のお話をうかがうことができ、自分も頑張らねばと刺激をいただきました。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?!から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

・カモメ Cafe の取り組みで、新採用者ハンドブック作成について、私の職場でも作成していますが、業務に特化したものであるため、部外の研修制度など業務以外のキャリアアップに関する内容の見直しを行いたいと思いました。

・事務職の方たちが、効率的な業務の運用方法をいろいろ考えて実行しているのをお聴きして、非常に刺激になりました。

・若手職員が職場横断的にプロジェクトに関われる環境は、うらやましいと思いました。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
学内で「横のつながり」がない 大学間での交流が少ない	学内外問わず、集まれるキッカケ(企画・プロジェクト)が必要と思います。 個人的には学びのひろばのような会に積極的に参加し、職場へ得られた情報をフィードバックしていきます。
国際化が進んでいない	カモメCafeの英単語・文例集は非常によい取り組みと感じました。 職場で行っているe-Learningを用いて、再来年度以降(来年度のプログラムは既に決まっているので)、何かしら企画できればと思っています。

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

普段聞くことのできない話(職種が全く違うところの話)を聞いて非常に参考になり、また、楽しかったです。

学内に限っていえば、もう少しカジュアル(オープン?)に、途中参加も退席ありな雰囲気が出せるといいのかもしれません。学びという響きから、堅苦しいイメージが感じられるかも。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート
 テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
 参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
 2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
 3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏
-
2. の近藤さんのお話の中で、「いかに教員の事務作業を減らし（業務仕分けをし）、科研費申請手続きに集中させるか」が申請件数および採択件数アップにつながった、というお話は、とてもためになった。ほかとのつながりを意識した業務仕分けは、結果として各担当業務の効率化につながると思う。
3. の久保田さんお話は、タイトルから興味をひかれたが、内容もとても分かりやすく、カモメ Cafe の活動内容もよく分かった。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
 また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
モチベーションのアップ	仲間意識を強めるための取組み. 挨拶を含めた仕事仲間との緊密なコミュニケーション

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
 また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

講演会後のディスカッションだと、講演内容を引き合いに出しながら議論できるなど、ディスカッションをスムーズに行いやすくいいと思います。ただ、毎回時間が足りず、グループの意見のまとめが駆け足になってしまうのが、少し残念です。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

<p>1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏</p> <p>2. 「科研費採択支援-部局経理担当者ができることは何か-」：金沢大学 近藤真史 氏</p> <p>3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏</p>
<p>2. この金沢大学のシステムは科研採択システムとも呼べるもので今回の提案はいの一番で取り入れるべき事例である。本学でも科研の応募、外部資金獲得を叫ぶだけではなく、科研の重複申請禁止や連続申請禁止などのルールが存在しているならば先生方にローテーションを示し、部局長に一覧表を渡して獲得に動いてもらい、大学全体で採用率、予算獲得率を向上させるべき。講演では具体的に聞けなかったが、結びに教員に時間をという標語でしめられていたが、いかに教員の負担を減らせるのか、本学ではその申請受付相談室などを行っていることを耳にしたことがあるので、いいところを組み合わせ外部資金獲得に乗り出すべきである。</p>

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
人事制度の見直し	スペシャリストとゼネラリストの話があり、学生のためにも、教員のためにもスペシャリストは必要であるが3年人事で広く浅くの人事が貫かれてきた。昔は教免のことならあの人の聞けば生き字引みたいな人がいた。
縦割り行政の弊害	公務員と民間企業との体質の違いが判ったような気がする事例で、民間なら利益率向上のために組織を挙げ、組織を超えて目標に向かうところ、隣の係りの仕事、他の課の仕事、負担が増えるだけともわず取り組みたい。

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

いつも思いますが、検討したことを、今後本当に反映させる、業務改善に生かされると素晴らしいひろばになると思います。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

1: 職務経験不足という点から、私から何か「発信」することをあまりしてきませんでした。私の所属する理工系は「上司の理解・協力を得ながら・・・」動くことのできる環境だと個人的には感じておりますので、全学的にというよりは、身近なところで動き始めてみようという勇気をいただきました。

2: 科研費採択率の上昇については、本学でも継続して取り組むべき課題であり、多くのヒントを得ることができました。特に先生方へお送りしているご案内については、従来のものよりも「先生方が欲しい情報をできるだけピンポイント」で「わかりやすく」し、「モチベーション」を上げていただけるようなものに変わられるよう、考えていきたいと思っております。

3: 「英単語例文集」「新規採用者向けハンドブック」の作成過程と、これから大学の置かれる状況を見越す大切さを知ることができ、また、これから入職してくる方のために自分自身に何ができるか、考えてみようと思えました。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
・ 科研費の採択率改善	・ 先生方に、よりわかりやすい（読みたい！と思っただけのような）ご案内をする。
・ 本学体育館の利用は予約制であるが、それを知らない学生が多く、予約をしていなくても勝手に使ってしまう（予約をした人が損をする）現状	・ 特に、昼休み（12:00～13:00）の時間帯の無断利用が多いので、当該時間帯における管理者の配置・指導（難しいが、上の方にご協力いただけますと効果大と予想します）。

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

学外の方と交流できる機会は決して多くありませんので、貴重な回だったと思います。

「斬新なことをしたい」というわけではありませんが、学びのできる他のことを、見つけられたらいいなと思います。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組みそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援-部局経理担当者ができることは何か-」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

畠山さん達の WG を見守ってきた上司の方々は、その取り組みの様子を心から嬉しく思ったのではないのでしょうか。「部下に任せる」ことは、やはり勇気のいることだと思います。上司と部下との信頼関係と、畠山さんのお人柄があってこそ、実りあるものとなったことを思い、心が動きました。

近藤さんの取り組みは、金沢大学だけでなく、日本全国の教員にエネルギーを与えるものと、確信致します。若手研究者に語り継いでいきます。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
自分,あるいは自分の所属する部局だけに都合のいいように考えるため,学内で対立したり,金銭的な問題が生じたりする.	あらゆる業務について,それを行うことの意義を,個人や部局単位で考えるのではなく,大学として今行うことの意義を見出す(Think Globally, Act Locally). また,人に説明できるようにする.
研究費の使用について,社会に対して説明できるかどうか,ではなく,事務を通過できるかどうかで判断する.	学びのひろばにご参加いただいて,教員と職員とはパートナーであることを実感していただく.

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか?ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

役に立つかどうかよりも、「働くとは何か」をテーマに、研究や業務内容ではなく、それに携わる「人」や「生活」に焦点を当てた方が、「学びのひろば」にしかできない、個性ある企画ができるのではないかと思います。

次年度は、「役に立つ」という面を一切排除してみてもいいでしょうか。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

2でお話しして下さった近藤さんの業務は、現在の私の業務とほぼ同じでしたので、直接参考になるものばかりでした。特に、過去5年間の科研費応募・採択状況を先生ごとにデータとしてまとめ、今年度いずれの課題に応募するかを予測、その上でどの課題に出すべきかを先生にアドバイスすることや、現在持っている科研費からいずれの課題に応募できるかを各先生にお知らせすることなどは来年度にでも行えそうな取組だったと思います。流れてくる仕事を前年度通り無難にこなすことが自分の仕事だと考えていた面があったのですが、むしろ、具体的な目標に向かって積極的にアクションを起こしていくことが重要なのだと知りました。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
ヘンに気づかない	解決策：別大学の人と交流するなどして業務を相対化 取組：今回のような会に参加して積極的に意見交換を交わしていく
教員と職員の仕事の境目が曖昧	解決策：それぞれの業務を上層部が再定義する 取組：少なくとも係内では一貫した対応を行えるよう、迷う場面があったらコンセンサスを得て仕事を進めていく

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

講演によるインプットとディスカッションでのアウトプットをほどよい割合で行うことができ、良い刺激になりました。今年度、第3回以外の3つに参加した中で最も学ぶところが多かったように思います。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありませんか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

- | |
|--|
| 1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏 |
| 1. 活動の収穫として「WG のメンバーと衝突できたこと」を挙げ、講演者ご自身が大学の中核を担うことを強く意識していることが印象的だった。そうした姿勢は見習いたい。
2. 結果が明確な数値として表れていることが、何よりも説得材料となった。メール転送時に工夫を施すなど、目的を達成するための具体的な対策が隅々まで取られていることは、事務の立場でできる最大限のサポートであると感じた。
3. 課題を解決するためにポイントを絞ることや、周囲の協力をうまく得ることなどは、日常業務を行う上でも見習いたい。 |

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
研修が少ない（他大学）	日常業務を優先して研修への参加を見送ることがあるが、豊富な研修が用意されている恵まれた環境を生かして、長期的な視点から、必要な研修は積極的に参加するようにしたい。
新しいことをしたくない。	自分の業務負担ではなく、大学全体の利益を考慮して行動をしたい。また、仕事を依頼する相手にも、丁寧な説明を心掛けたい。

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

講演もディスカッションも、今回のように時間が少し足りないと感じるくらいがちょうどよい。他大学から参加いただく方に対しては、集合時間を別途早めに設定して学びのひろばの概要について話し合うなど、参加の満足度を高めてもらう対応をしてもよいかと思う。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート
 テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
 参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

ご講演で伺った内容自体は、その仕事にかかわっていなかったり、疑問に思うほど仕事を理解していなかったりで、今の段階では取り組むのが難しいが、業務外のことをするときには、自分の仕事に影響を及ぼさないようにする、上司には尊敬の念を持つ、そして、拝借した知識と若手自身のやる気とを合わせて、取り組みを進めていくことが重要だと思った。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
 また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
いくつかの部署にかかわる案件のトラブルが頻発する	まずは、関連部署と連絡を取りあう。 そして、起こりうるトラブルを予測し、事前に対策をしておく。
学びのひろばの参加者が少ない	イメージの改変？ 参加したいと思わせ、参加しない人も同じ係の人が参加するのを迷惑だと思わないようにさせる。

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
 また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

ディスカッションが、フリーテーマだと、グループの司会者の力量にかかっている部分が大きく、解決策までしっかりと話せないことが多いので、具体例などを事前にあげておいて、ディスカッションする内容を決めておいてほしい。
 研究施設訪問は来年度もやってほしい。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
 2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
 3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

1.2 同じ若手でも立派に成果を出され、それを学外プレゼンで発表されていた…と考えると自分も負けていけない、という気持ちになりました。

3. 問題意識の持ち方や、それを検証し行動に移すまでの心構えなどを聞く事ができ、とてもよかったです。
 質疑応答の時間が各講演毎にあれば尚良かったですが、今回の時間枠だと仕方ないですね。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
教職員の元気がない？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生教職員合同のレクリエーション企画 (例：スポーツ大会) ・ 挨拶 (例：あいさつWG発足)

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

学外の方が来てご講演やディスカッションをする事は内部の人間の刺激にもなり良いと思います。親睦会も含め、普段接しない方々と知り合える事は大きなメリットだと改めて感じました。

今後の学びのひろばは、学内外含め「ふれあい」というのがカギになるかもしれません。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート

テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

金沢大学 近藤さんのお話を聴いて、先生達に通知を送る際などは、単に事務的に連絡をするのではなく、一言・一工夫して、その先生にとって必要な情報を拾いやすくするのが大事ではないかと思いました。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと
みんな元気がないのはなぜか	日頃からのコミュニケーション、挨拶をしっかりとこなうこと

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

第1部では、他大学での取組を伺うことが出来、非常に興味深くお話を聴かせて頂きました。第2部については、もう少しポイント（テーマ）絞ったディスカッションの内容にした方がよいと思いました。結局職場でのコミュニケーションや業務の縦割り、モチベーションの話など、これまで学びのひろばで行ってきた話の内容を繰り返すだけになってしまいがちなので、初めて参加する人なら良いのですが、繰り返し参加をしてもらうための工夫が、回を重ねるごとに必要かなと思いました。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート
 テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
 参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏
 2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏
 3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏

科研費申請は、教員と事務との総力戦で他大学と戦う必要があると感じた。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
 また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策，自分で取り組んでみたいこと
学内のローカルルールの見直し	各組織間で話し合いを持つことで、活動を阻害するローカルルールを変える必要がある。 例えば、広報と施設の間で、休日の教室利用について、再度考え、大学の利益のために動いたほうがよいと感じた。

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
 また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

初めて参加して、大変勉強になった。今後も参加し、横浜国立大学の発展に寄与したい。また、他の組織、校友会や同窓会、保護者会との交流も行い、ALL 国大で事に当たったほうが、今後の大きな改革の波にのまれずに、生き抜いていけると感じた。

平成26年度 第4回学びのひろば アンケート
 テーマ：「ここがヘンだよYNU ～ヘン!?から始まる課題解決～」

- ① 第1部のご講演を聞いて、自分（達）にも取り組めそうだったことはありましたか？
 参考になったことや、ご講演者へのメッセージなどをご記入ください。

1. 「若手職員 WG による研究不正防止体制の見直し」：宮城教育大学 畠山和也 氏 2. 「科研費採択支援一部局経理担当者ができることは何か」：金沢大学 近藤真史 氏 3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」：横浜国立大学 久保田雅秋 氏
3. 「美味しいコーヒーのいれ方（カモメ Cafe の活動報告）」を聞いて 日々の業務の中で「こうできたらいいのになあ」となんとなく感じていることも、周りと共有し、計画を立てて一つひとつ実行していけば、自分でも目に見える形にすることができることを知りました。大学職員用の英単語及び例文集、新規採用者向けハンドブックは、役に立つだけでなく、読み物としても面白かったので、作成にいたる具体的な道のりを聞くことができて、とても参考になりました。ありがとうございました。

- ② 第2部のディスカッションで、興味深いと思った課題を最大2つまでご記入ください。
 また、それを解決するための対策と、ご自身で取り組んでみたいことをご記入ください。

課 題	解決策, 自分で取り組んでみたいこと

- ③ 今回の開催形式はどうでしたか？ご意見がありましたら、ご記入ください。
 また、来年度の企画など、今後の学びのひろばに期待することをご記入ください。

初めて参加させて頂いたのですが、想像していたよりしっかりした部屋を用意して頂いたので、少し恐縮しました。けれども他大学の方の考えも同時に聞くことができ、とても有意義な時間となりました。
--